

埼玉県環境白書の刊行にあたって



本県には、荒川や利根川などの豊かな河川、秩父の美しい山並み、見沼たんぼや武蔵野の雑木林をはじめとする自然に加え、「交通の要衝」として都市の賑わいと便利さを併せ持つ魅力があります。

私は、こうした魅力を生かした「日本一暮らしやすい埼玉県」を実現するには、次世代を担う子供たちに自然の魅力や安心安全な社会を引き継がなければならないと考えています。そのためには、県民や団体、企業、行政、学校など、あらゆる主体が連携・協働して取組を進めることが大変重要です。

今、世界では、平成27年に国連総会で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」のように、地球規模での持続可能な社会の構築に向けた取組が潮流となっています。

国は、昨年4月に「第五次環境基本計画」を閣議決定しました。そこでは、こうした新たな文明社会を目指す時代の大きな転換を受け、環境、経済、社会の統合的向上を具体化し、SDGsの理念を取り入れた持続的な循環共生型の社会を目指しています。

本県でも「誰一人、どの地域も取り残さない持続可能な埼玉県」を実現するため、SDGsの取組を政策横断的に推進し、環境分野においては、「埼玉県環境基本計画」に基づき、「低炭素社会」、「循環型社会」、「自然共生社会」などを目指した取組を進めてまいります。

この「埼玉県環境白書」は、本県の環境の状況と、環境の保全や創造に関する施策の進捗状況を取りまとめたものです。この白書をきっかけに、多くの県民の皆様が環境問題に対する理解を深めるとともに、環境の保全・創造活動に取り組まれる際の一助となれば幸いです。

今後とも、皆様の御支援と御協力を心からお願い申し上げます。

令和元年12月

埼玉県知事 大野元裕